

## 令和3年度家庭エコ診断制度の事業成果について

### 1. 令和3年度 都道府県ごとの推定 CO<sub>2</sub> 排出割合

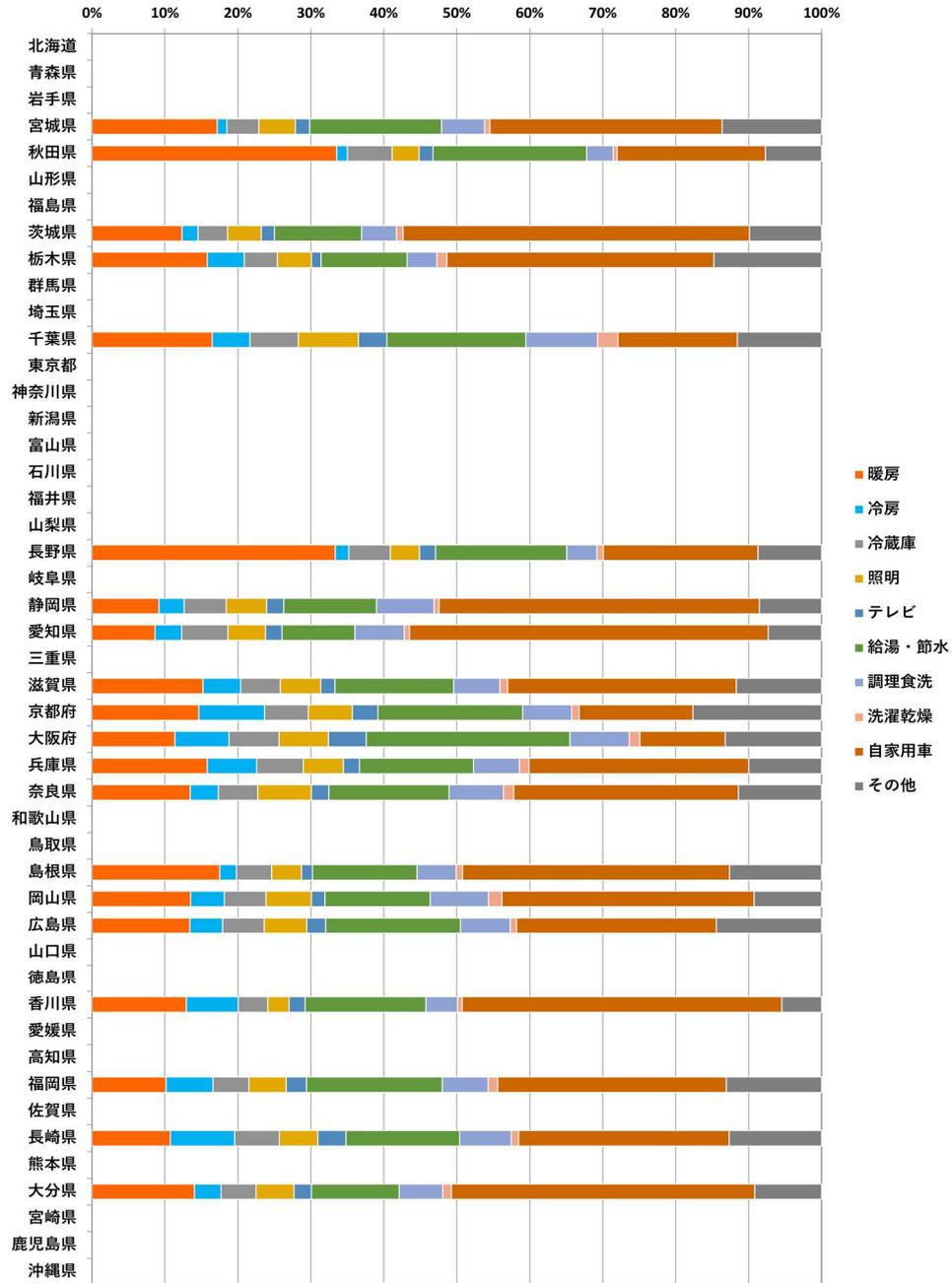


図1 都道府県ごとの推定 CO<sub>2</sub> 排出割合

※1 うちエコ診断で得られる世帯別用途別 CO<sub>2</sub> 排出量のデータを都道府県別世帯人数別に推計し、都道府県別世帯人数別の CO<sub>2</sub> 排出原単位を作成した上で、都道府県ごとの世帯人数別世帯数(総務省国勢調査：平成 27 年度)を乗じることにより、都道府県ごとの家庭からの排出割合を推計しました。

## 2. 令和3年度対策の選択数別の実施率一覧（上位30位）

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	冷暖房	1部屋目の暖房の設定温度を控えめにする	375	346	92%
2	自家用車	エコドライブに心がける	358	334	93%
3	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	307	192	63%
4	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	257	214	83%
5	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	222	103	46%
6	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	169	150	89%
7	冷暖房	扇風機を使いエアコンを3割減らす	155	116	75%
8	給湯節水	シャワーの時間を3割減らす	151	121	80%
9	冷暖房	冷房の設定温度を控えめにする	147	133	90%
10	給湯節水	家族が続けて入り風呂の追い炊きをしない	142	125	88%
11	照明	居間の蛍光灯をLEDシーリングライトに付け替える	130	77	59%
12	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	128	61	48%
13	冷暖房	暖房をする時間を3割短くする	127	94	74%
14	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	119	92	77%
15	冷暖房	家族だんらんで1部屋で過ごすようにする	100	88	88%
16	給湯節水	お風呂のお湯を少なめにして半身浴をする	100	70	70%
17	給湯節水	給湯器を節約モードに設定する	95	81	85%
18	自家用車	目的値まで車でなく徒歩や自転車で行く	87	59	68%
19	冷蔵庫	冷蔵庫の設定を弱くする	84	70	83%
20	自家用車	1日10分間のアイドリングストップをする	83	64	77%
21	冷蔵庫	1台目の冷蔵庫/ストッカー(冷凍庫)を止める	80	25	31%
22	冷暖房	1部屋目のエアコンを省エネ型に買い替え、暖房もエ	78	41	53%
23	自家用車	1台目の車を燃費のいい車に買い替える	76	25	33%
24	冷暖房	1部屋目のエアコンを使用しないシーズンはコンセントか	71	55	77%
25	冷暖房	1部屋目のエアコンを省エネ型に買い替える	69	25	36%
26	自家用車	タイヤの空気圧を適正に保つ	68	61	90%
27	自家用車	目的地までの車の利用を半分にする	68	40	59%
28	自家用車	1台目の車をエコタイヤに交換する	58	23	40%
29	太陽光	屋根に3.6kWの太陽光発電装置を設置する	58	26	45%
30	冷蔵庫	エアコンのフィルターを掃除する	55	37	67%

※黄色は買い替えに関する対策

令和3年度の選択数が多い対策と事後調査結果より得られた対策実施率を上位30項目で取りまとめました。令和3年度においても家庭からの排出割合の多い、自家用車、給湯節水、冷暖房分野に関する対策が多く選択されています。また、設備の買い替えに関する対策については、節水シャワーヘッドのほか、冷蔵庫、自家用車といった対策が上位30項目に入っています。

令和2年度以前の対策選択状況と比較すると、冷暖房に関する対策が多く選択されています。これは、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、民間企業におけるテレワークの導入が進んだことにより、在宅での勤務や過ごす時間が増え、冷暖房に関連する光熱費の見直しをする人が増えたと考えられます。

### 3. CO<sub>2</sub> 排出削減量、および節約金額（令和3年度）

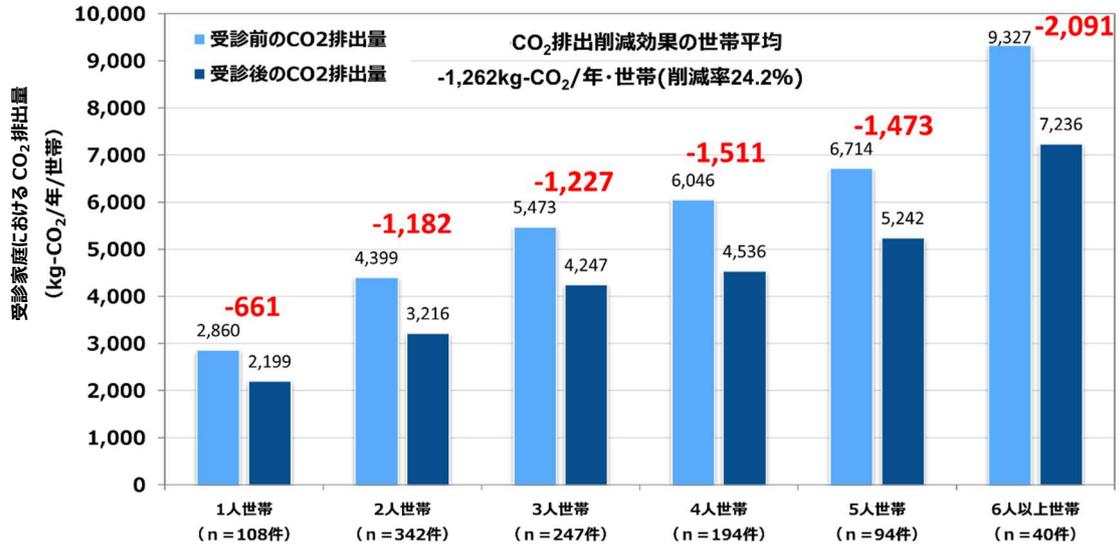


図2 世帯人数別の診断前後のCO<sub>2</sub>排出量の比較

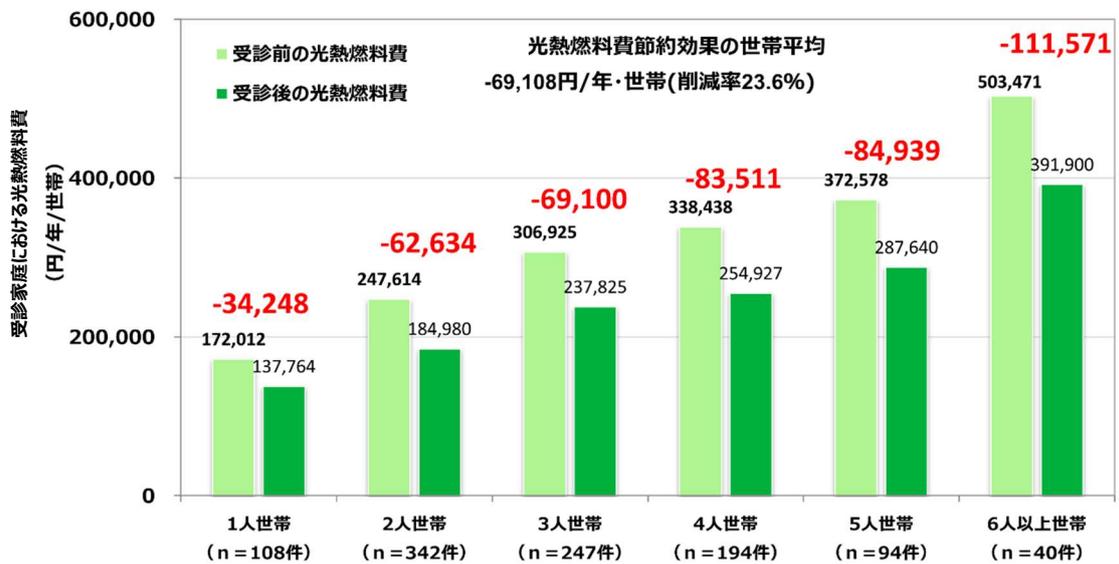


図3 世帯人数別の診断前後の光熱燃料費節約金額